

第2回

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））

全国ダイバーシティ ネットワーク シンポジウム

女性研究者が輝く近未来を創る

2019. **12.6** (FRI)
14:00~
17:00
開場13:30~

@一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
学術総合センター内



全国ダイバーシティネットワーク組織

主催：大阪大学，東京農工大学，日本アイ・ビー・エム株式会社
開催担当：東京農工大学



Program

- 14:00 ~ 14:10 開会挨拶 大野 弘幸 東京農工大学 学長
- 14:10 ~ 14:20 来賓挨拶 奥野 真氏 文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 課長
- 14:20 ~ 14:35 挨拶・事業紹介 工藤 真由美 大阪大学 理事／副学長
宮浦 千里 東京農工大学 副学長／女性未来育成機構長
- 14:35 ~ 15:15 基調講演 梶原 ゆみ子氏 総合科学技術・イノベーション会議 議員
富士通株式会社 理事

「イノベーティブな国になるために ～産学官で進めるダイバーシティ～」

15:15 ~ 15:35 休憩

- 15:35 ~ 16:55
- 北海道ブロック 北海道大学*/室蘭工業大学
- 東北ブロック 東北大学*/山形大学/岩手大学
- 東京ブロック 東京農工大学*/お茶の水女子大学/東京大学
- 全国8ブロックからの活動報告 関東・甲信越ブロック 筑波大学*/新潟大学/千葉大学
- 東海・北陸ブロック 金沢大学*/名古屋大学
- 近畿ブロック 大阪大学/京都大学/神戸大学/立命館大学*
- 中国・四国ブロック 広島大学/徳島大学*/岡山大学/愛媛大学
- 九州・沖縄ブロック 九州大学*/長崎大学/宮崎大学

*2019年度とりまとめ幹事大学

16:55 ~ 17:00 閉会挨拶 荻原 勲 東京農工大学 理事（学術・研究担当）／副学長

17:30 ~ 19:00 情報交換会
会場：1階 特別会議室

◆ 基調講演 ◆



梶原 ゆみ子 (かじわら ゆみこ) 氏

総合科学技術・イノベーション会議 議員
富士通株式会社 理事

テーマ

イノベティブな国になるために ～産学官で進めるダイバーシティ～

富士通株式会社に入社後、通信機器やモバイル端末などの事業部門に従事し、2006年よりモバイル端末事業における知財戦略を担当。2013年よりコーポレート部門に異動し、全社の法務、知財戦略を担当、2015年には法務・コンプライアンス・知的財産本部副本部長に就任。2017年には人事本部副本部長（人材開発及びダイバーシティ推進担当）に就任し、イノベーション人材や女性リーダーの育成、多様な働き方の実現に向けた全社取り組みなどを推進。現在は理事、CTO補佐兼ダイバーシティ推進室長。また、2018年3月より内閣府総合科学技術・イノベーション会議非常勤議員に就任し、政府の科学技術イノベーション政策の企画立案に貢献している。

◆ 開催挨拶 ◆



大野 弘幸 東京農工大学 学長

ダイバーシティに基づく女性研究者の活躍推進は、世界水準の教育研究活動を進めていく上で我が国の最も重要な施策の一つとして位置づけられています。平成30年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））は、2年目を迎え、全国8ブロックの幹事大学、参画機関のご協力の下、幹事機関である大阪大学と協働機関である東京農工大学および日本アイ・ビー・エム株式会社が連携し、女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む機関をつなぐ「全国ダイバーシティネットワーク組織」の構築を目指した取組を行っています。

現在までに140機関を超える機関に参画いただき、幹事大学、参画機関の関係者の皆様のご支援のもと、第2回全国ダイバーシティネットワークシンポジウム開催の日を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

本シンポジウムにて活発な意見交換や議論が行われ、全国の女性研究者の活躍およびダイバーシティ推進の取組がより一層発展・推進されることを祈念しております。

◆ ご挨拶 ◆



幹事機関

工藤 真由美

大阪大学 理事／副学長

文部科学省の科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））」により、2018年度、全国ダイバーシティネットワークが設立されました。本事業は、全国で女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む機関をつなぎ、国内外の取組動向の調査やその経験、知見の全国的な普及・展開等の支援を図る取組です。

本事業を開始するにあたり、「全国ダイバーシティネットワーク組織」と、ウェブサイトを活用した「全国ダイバーシティネットワークプラットフォーム」という2つの柱を創設しています。

2019年10月29日現在、全国の高等教育機関、研究機関、企業等142機関が参画され、文部科学省との緊密な連携のもと、活動を展開しています。

大阪大学は、幹事機関として、国内外の多様な人々に開かれた全国ダイバーシティネットワークへと発展していくための足元をしっかりと支えていきます。

皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



協働機関

宮浦 千里

東京農工大学 副学長／女性未来育成機構長

「全国ダイバーシティネットワーク組織」では、全国を北海道、東北、東京、関東・甲信越、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄の8ブロックに分け、参画機関の連携のもと各ブロックの幹事大学が中心となり、地域、ブロック間の情報共有を推進しています。今後皆様と協働して、女性研究者の支援とダイバーシティに関するグッドプラクティス等について、情報共有、機関間交流の強化を図り、「全国ダイバーシティネットワーク組織」の発展に努めてまいります。ご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本シンポジウムでは、総合科学技術・イノベーション会議議員／富士通株式会社理事の梶原ゆみ子氏をお招きし、「イノベティブな国になるために～産学官で進めるダイバーシティ～」について基調講演をいただきます。また、各ブロックの活動報告を基に、全国の共通課題、地域特有の課題、活動の好事例等について議論し、皆様と全国ダイバーシティネットワークが果たすべき役割と意義について考える時間となりましたら幸いです。

◆ 取組概要 ◆



全国ダイバーシティネットワーク

**女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む
諸機関をつなぎ、国内外の取組動向の調査やその経験、
知見の全国的な普及・展開等を図る。**

2018年11月26日 全国ダイバーシティネットワーク組織 の設立

フェイス・トゥ・フェイスで事例や課題を共有。
 ● 全国を8ブロックに分け、ブロックごとに幹事大学を置き、各ブロックにおける機関の連携強化、情報の共有及び取組の活性化を図る。
 ● 幹事大学による「全国ダイバーシティネットワーク組織幹事会」を設置し、情報と課題の共有を図る。

2019年3月29日 全国ダイバーシティネットワークプラットフォーム の構築

ウェブサイト <https://www.opened.network/> を開設し、参考となる事例等の情報を発信。
 ● 事業の概要、各ブロックの活動、参考事例、イベント等情報を収集・発信。
 ● 大学・研究機関・企業の実態調査の実施。
 ● オープンで多様なオンライン上のコミュニティを形成。

現実ネットワークと
仮想ネットワークの協働

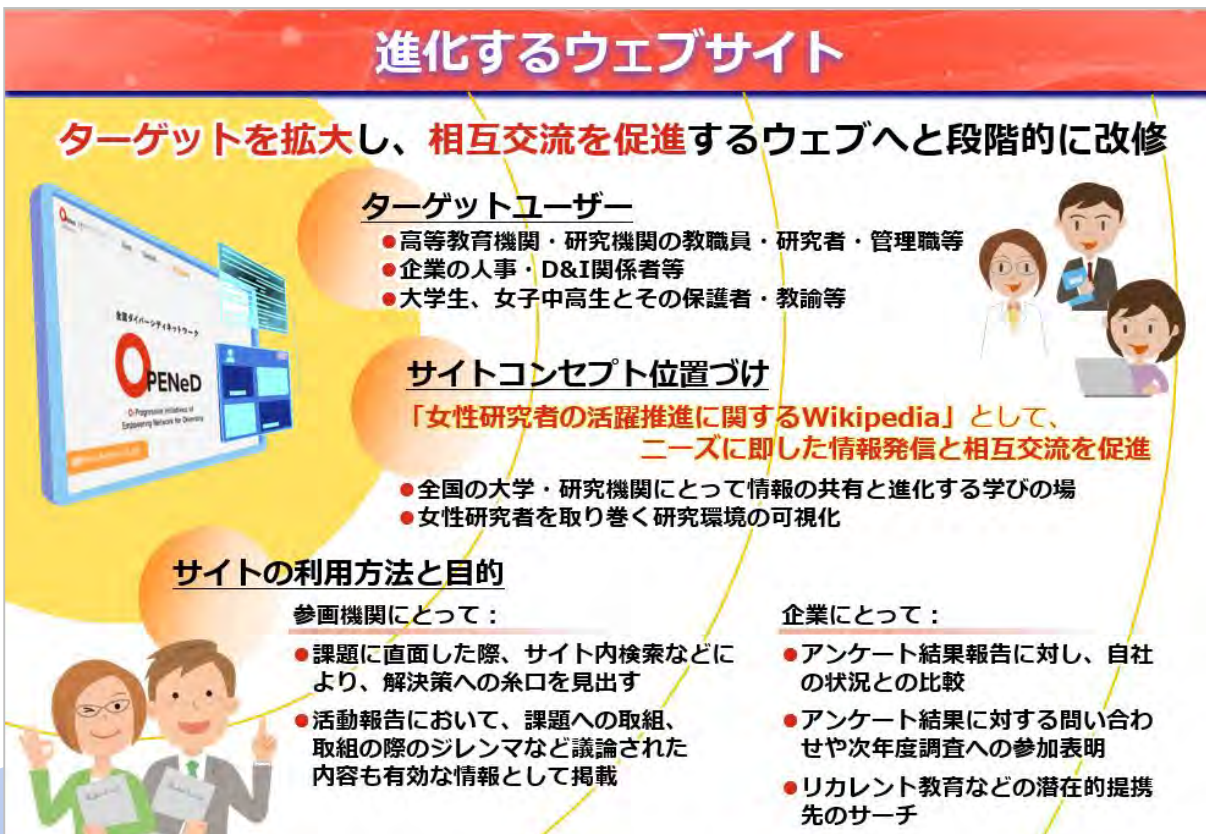
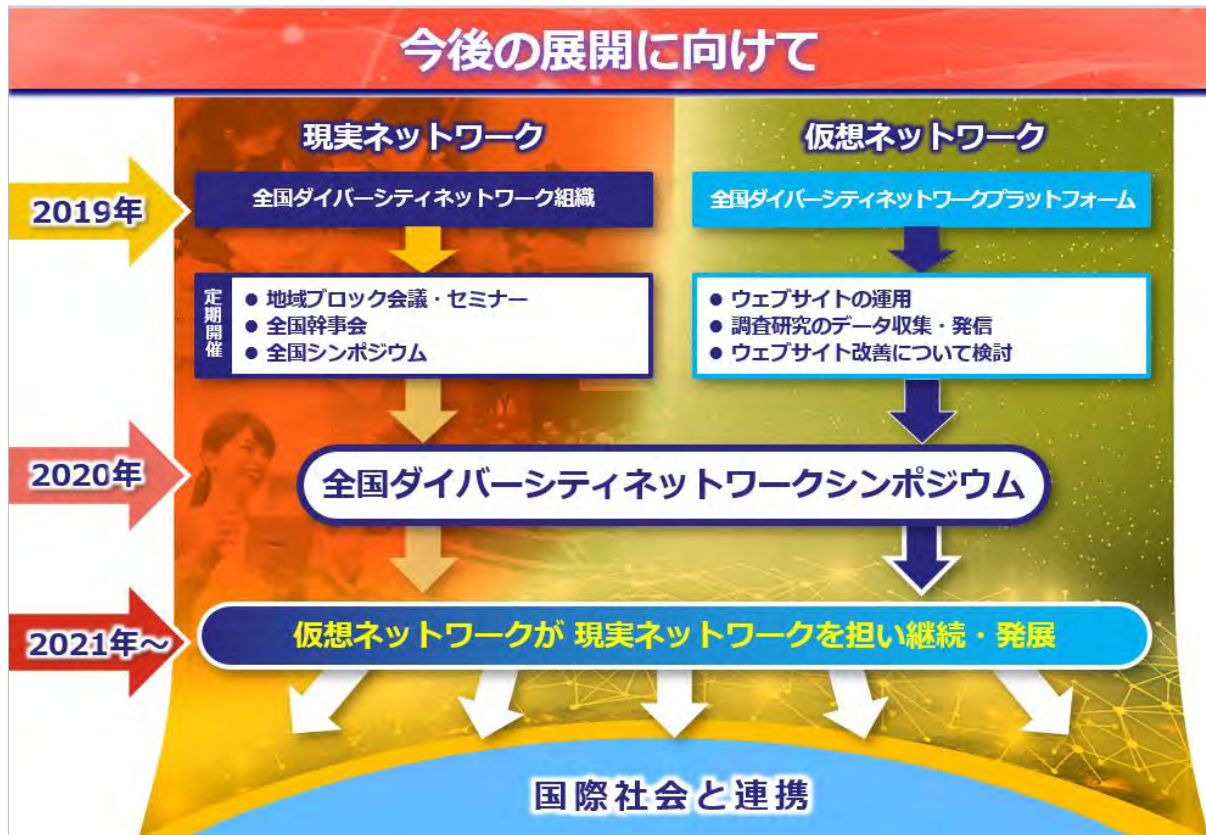
全国ダイバーシティネットワークシンポジウム（案）

2020年5月27日（水）開催予定
 会場：大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）10階（予定）

<スケジュール（案）>

◆ 来賓挨拶	文部科学省：予定 国立研究開発法人科学技術振興機構：予定
◆ 全体講演	基調講演：島谷庸一氏（株式会社資生堂 代表取締役副社長） 大阪大学総長：本事業の実績と今後に向けて（仮） 立命館大学長：私立大学における本事業への参画に向けて（仮） 日本学術会議：学術における男女共同参画の現状と課題－日本学術会議 科学者委員会男女共同参画分科会提言（2020年）から（仮）
◆ ブロック横断的な テーマ別分科会	● テーマ例（仮） ① 学生が目指すジェンダー平等 ② 医学系・医療系領域における意識改革と働き方改革 ③ 企業アンケートから見えてくるもの 他
◆ 優良事例の発表	最優良事例・優良事例表彰式 講評・講演：村木厚子氏

◆ 取組概要 ◆



◆ 地域ブロックの活動状況 ◆



全国ダイバーシティネットワーク組織地域ブロック活動①



中国・四国
ブロック



東北
ブロック



九州・沖縄
ブロック



近畿
ブロック



東海・北陸
ブロック



関東・甲信越
ブロック



東京
ブロック



北海道
ブロック



**各ブロック会議
の開催**

**ブロックシンポジウム、
セミナーの開催**

**ダイバーシティ研究環境実現に向けた
課題や事例の共有**



**全国ダイバーシティ
ネットワーク組織幹事会**

**全国シンポジウム等の開催により、8ブロックの活動の連携推進
ダイバーシティ研究環境実現に向けた提案・意見交換を実施**

全国ダイバーシティネットワーク組織地域ブロック活動②

各ブロックの特色ある取組実績：シンポジウム、セミナー等

 北海道 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2019.3.14 シンポジウム 「ダイバーシティ時代の研究リーダーとマネジメント人材の育成」 基調講演：大阪大学 理事・副学長 工藤真由美 ▶ 2019.10.29 ブロック会議勉強会 「九州工業大学におけるダイバーシティの推進 - Kyutech Projectの取組 -」 ▶ 2019.12 イベント
 東北 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2019.3.1 ブロック勉強会 「ダイバーシティ研究環境を実現するために英国アテナ・スワン顕彰から学ぶ 女性活躍推進度指標GEMST Indexの推進」 ▶ 2019.10.3 ブロック勉強会
 東京 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2019.9月-10月 課題別ワークショップ 1. ライフイベント支援について 2. ダイバーシティ推進組織の運営体制と意識改革に関わる取組 3. 女子学生の増加に向けて～多様な学生構成の実現を目指して～ ▶ 2020.2月-3月 セミナー
 関東・ 甲信越 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2019.11.28 セミナー 「研究領域におけるGender Equality とダイバーシティ推進の壁～意思 決定プロセスへの女性の参画と 推進体制の持続可能性～」
 東海・北陸 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2019.2.4 シンポジウム 「医学系の女性活躍推進と働き方改革」 講演：長崎大学ダイバーシティ推進センター教授 伊藤昌子氏/公立陶生病院小児科部長 加藤英子氏 ▶ 2019.7.17 セミナー 「理系女性の活躍推進」
 近畿 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2019.2.18 シンポジウム 「男女協働が切り拓く理工系分野の未来～これまでを超えるこれから～」 基調講演：IBMフェロー/カーネギーメロン大学客員教授 浅川智恵子氏 「人事に関わるポジティブ・アクション」「ライフイベントとの両立に向けた研究環境整備」 ▶ 2019.6.20 セミナー 「女性研究者育成とスキルアップ支援」 ▶ 2019.9.17 セミナー 「理系女性研究者の裾野拡大と風土づくり」 基調講演：立命館アジア太平洋大学・学長 出口治明氏
 中国・四国 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2019.11.18 ワークショップ 「女性活躍促進の進展度合いをみるために」
 九州・沖縄 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2019.1.25 セミナー 「女性活躍促進の国際化：OISTの事例」 ▶ 2019.9.20 シンポジウム 「女性の活躍推進に向けて～支援から戦略へ～」 基調講演：東京大学名誉教授 上野千鶴子氏

◆全国8ブロックの活動報告◆

北海道ブロック

発表者:長堀 紀子 北海道大学 人材育成本部 女性研究者支援室 特任准教授

北海道ブロック

- ・ **ブロック幹事大学**
北海道大学、室蘭工業大学
- ・ **ブロック参画機関**
北見工業大学、**帯広畜産大学（新規）**
日東電工株式会社北海道研究所
株式会社アミノアップ

1

北海道ブロック 行動目標

1. **ダイバーシティ研究環境への理解浸透とネットワークの形成に向けて活動する。**
 - ブロック会議を開催し、各共同実施機関での課題や有用な取り組み等を共有する。
 - 先進的な取り組みを行っている大学や企業から講師を招聘し、その効果や課題について学ぶための勉強会を開催する。
 - 全国のシンポジウムや他の地域ブロックで行われるシンポジウム等に参加し、先進事例やグッドプラクティスをブロック内で共有し、取組の発展に役立てる。
2. **女性研究者のすそ野拡大に向けて協力して活動する。**
 - 博士課程を目指す学生を増やすための講演等の取り組みについて、参画機関の大学や企業の研究者による座談会等を実施し、必要に応じてブロック内への動画配信を行う。

2



北海道ブロック 活動報告①

北海道ブロック会議（10/29）

活動報告、事業計画について

北海道ブロック会議勉強会（10/29）

「九州工業大学におけるダイバーシティの推進—Kyutech Projectの取組—」
講師：九州工業大学 安河内恵子 副学長/男女共同参画推進室室長

情報収集のためのシンポジウム等参加支援

- 北東北女性研究者研究・交流フェア2019、北東北国立3大学連携推進会議 連携協議会 男女共同参画シンポジウム、岩手大学（9/26）
- 国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム（CAPWR）中間総括シンポジウム、広島大学（9/27）
- 東京ブロック課題別ワークショップ（10/18）
- 近畿ブロックシンポジウム（11/21）

3

北海道ブロック 活動報告②

博士課程進学促進のための取組

企業で働く博士研究者によるダイバーシティ座談会 （12/20）

共同実施機関（企業）の研究者による話題提供
共同実施機関（大学）への配信

女子の理系進路選択支援のための取組

さっぽろサイエンスフェスタin北海道大学（12/21）

北見工業大学、日東電工株式会社北海道研究所、株式会社アミノアップ
による出展予定

* ネットワークによる活動がきっかけとなった。

4

◆全国8ブロックの活動報告◆

東北ブロック

発表者: 大隅 典子 東北大学 副学長(広報・共同参画担当) / 医学系研究科 教授

東北ブロック

幹事大学

- 岩手大学
- 東北大学
- 山形大学

参画機関 (2019年11月8日現在)

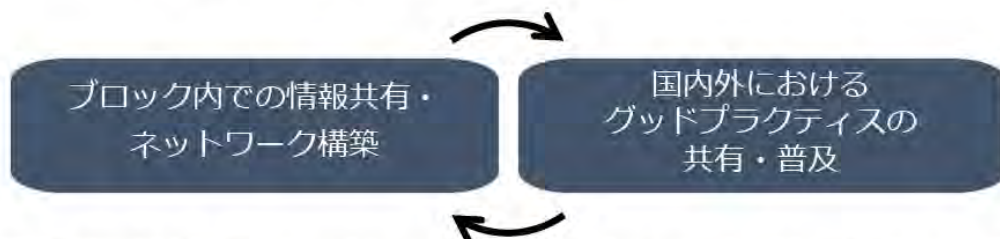
- 仙台高等専門学校
- 福島県立医科大学
- 山形県立米沢栄養大学
- 宮城大学

1

東北ブロック 行動目標

目標 1 : 南東北ネットワークの設立や北東北ダイバーシティネットワーク機関を始めとする、全東北地区の関係機関へ本事業への参画を呼びかけ、東北地区全体のダイバーシティネットワーク組織の連携・拡大を図る

目標 2 : 東北ブロック会議・勉強会を開催し、ダイバーシティ推進のための優れた取り組みを学ぶとともに、各々の活動の情報共有を図る



地域におけるネットワーク強化と全国的な展開を両立

2



2018年度 東北ブロック 活動報告

第1回東北ブロック会議 [2018年3月1日、於 東北大学]

- ✓ 幹事大学での課題や有用な取組等を共有、次年度以降の活動を検討

東北ブロック勉強会 [2018年3月1日、於 東北大学]

- ✓ Fiona McClement博士、Sara E Mole博士（英国UCL）と大坪久子 博士（日本大学）を講師に「ダイバーシティ研究環境を実現するために 英国アテナ・スワン顕彰から学ぶ女性活躍推進度指標 GEMST Index の推進」を開催（参加者：30名）

第2回東北ブロック会議（南東北会議） [2018年3月8日、於 山形大学]

- ✓ 南東北ネットワークの設立準備とともに、シンポジウムにおいて南東北の参加大学と山形県の高等教育機関が交流を開始



第1回東北ブロック会議



東北ブロック勉強会

3

2019年度 東北ブロック 活動報告

南東北ネットワーク会議 [2019年7月5日、於 山形大学]

- ✓ 南東北の幹事大学、参加大学、オブザーバー参加機関が出席し、互いに取組を報告した後、セミナーに参加して交流を深めた（参加者：12名）

東北ブロック会議 [2019年10月3日、於 東北大学]

- ✓ 阪大の工藤真由美理事・副学長より全国ネットワーク構築の意義を説明いただき、参画機関拡充の取組を検討
- ✓ グッドプラクティス等の情報共有・意見交換を通じ、ブロック間のネットワーク構築・相互連携を深めた

東北ブロック勉強会 [2019年10月3日、於 東北大学]

- ✓ 若手大学の宮本ともみ副学長を講師に、「若手大学における男女共同参画推進－無意識のバイアスと「ダイバーシティレポート制度」を中心に－」を開催（参加者：約40名）
（予定されていたカナダ連邦政府首席科学顧問のモナ・ネメル博士の講演は航空機遅延のためキャンセル）

シンポジウム・セミナー等の相互公開、幹事大学による近隣機関への参画依頼 [通年]



東北ブロック会議



東北ブロック勉強会

4

◆全国8ブロックの活動報告◆

東京ブロック

発表者：宮浦 千里 東京農工大学 副学長／女性未来育成機構長

東京ブロック

ブロック幹事大学

取りまとめ幹事大学

東京農工大学、お茶の水女子大学、東京大学



ブロック参画機関 (31機関) (五十音順)

宇宙航空研究開発機構、杏林大学、国際基督教大学、実践女子大学・短期大学部、首都圏産業活性化協会、首都大学東京、順天堂大学、情報・システム研究機構、拓殖大学、津田塾大学、帝京大学、電気通信大学、東海大学、東京医科歯科大学、東京医科大学、東京外国語大学、東京海洋大学、東京学芸大学、東京藝術大学、東京工業大学、東京女子医科大学、東京女子大学、東京都市大学、東京理科大学、東邦大学、東洋大学、日本医科大学、日本女子大学、日本大学、法政大学、早稲田大学

総計34機関

1

東京ブロック 行動目標

行動理念:

東京ブロックにおけるダイバーシティに関する取組内容の情報共有および課題抽出、意識啓発を推進する。この活動を通して、東京ブロックネットワーク参画機関数の増大を図り、全国ネットワークの構築に貢献する。

目標1:

東京ブロック会議ならびに東京ブロックセミナー等を開催し、ダイバーシティに関する取組課題やグッドプラクティス等の情報を共有する。

目標2:

東京ブロックネットワーク参画機関数の増大を図り、全国ネットワークの構築に貢献する。

■東京ブロックでは、大学・研究機関・企業等、多くの機関が集積し、特色ある様々な取組が進められている。地理的な特性を活かし、類似または異なる特徴を有する機関間において、密な情報共有を図ることがダイバーシティ推進に極めて有効である。

2

◆全国8ブロックの活動報告◆

関東・甲信越ブロック

発表者: 五十嵐 浩也 筑波大学 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター センター長

関東・甲信越ブロック

・ブロック幹事大学

筑波大学・新潟大学・千葉大学

・ブロック参画機関等

茨城大学・宇都宮大学・埼玉大学

山梨大学・長岡技術科学大学

横浜国立大学・理化学研究所

量子科学技術研究開発機構

国際農林水産業研究センター **計12機関**

R1.11.1時点

1

関東・甲信越ブロック行動目標

1. ネットワークを構築するため、事業期間内に20以上の参加機関の参画を目指す
2. ブロック会議の開催を通じて、ネットワークの拡大と、各地域におけるグッドプラクティスと課題の共有を進め、それらの情報や成果を広く社会に発信する
3. 将来的に構築したネットワークがより多くの価値を有するよう、女性研究者支援に限らず、多様な属性を有する個人の誰もが個性と能力を発揮できる研究環境の実現に向けて、広くダイバーシティ推進に資する情報交換及び資源の共有を話し合う機会と場を設ける

2



関東・甲信越ブロック活動報告①

- ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO) との連携

令和元年度DSO総会@9月27日で事業説明と協力依頼 (大阪大・東京農工大・筑波大)



3

関東・甲信越ブロック活動報告②

- ブロック会議+セミナー開催@11月28日



<テーマ>

- 意思決定プロセスへの女性の参画
- 補助事業後の持続可能性

<情報交換会>

顔の見える関係へ

4

◆全国8ブロックの活動報告◆

東海・北陸ブロック

発表者：池本 良子 金沢大学 学長補佐(男女共同参画推進担当)／男女共同参画キャリアデザイン
ラボラトリー長／理工研究域地球社会基盤学系 教授

東海・北陸ブロック

● 幹事大学 2校

金沢大学、名古屋大学（50音順）

● 参画機関 17機関 2019年2月以降新規参画機関

愛知医科大学、石川県立大学、石川工業高等専門学校、
金沢医科大学、小松大学、岐阜大学、静岡大学、富山大学、
富山県立大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、
名古屋市立大学、浜松医科大学、福井大学、藤田医科大学、
北陸先端科学技術大学院大学、三重大学（50音順）

1

東海・北陸ブロック 行動目標

テーマ：女性の活躍推進およびワーク・ライフ・バランス

目標1： 東海・北陸地域におけるダイバーシティ・ネットワークの
形成と拡充を行う。

目標2： 全ての分野において、大学における女性活躍や男女共同参画
を推進する。

目標3： 医療系や理工学系女性の活躍およびワーク・ライフ・バランス
推進についてのグッドプラクティスの共有・普及を図る。

2



東海・北陸ブロック 活動報告①

● 令和元年度 第1回東海・北陸ブロック会議の開催

- 日時：令和元年7月17日(水)
 場所：ANAクラウンプラザホテル金沢
 議題：1. 東海・北陸ブロック会議要項について
 2. 今年度のブロック活動予定
 3. 全国ネットワーク幹事校からの依頼事項
 4. 各参画機関のダイバーシティ活動状況



● 東海・北陸ブロックセミナーの開催

- 日時：令和元年7月17日(水)
 場所：ANAクラウンプラザホテル金沢
 テーマ：理系女性の活躍推進
 基調講演：西澤 直子 氏 (石川県立大学 学長)



● 令和元年度 第2回東海・北陸ブロック会議の開催

- 日時：令和元年12月10日(火)
 場所：金沢東急ホテル
 議題：1. 東海・北陸ブロック会議要項について
 2. 全国ダイバーシティネットワーク組織第2回幹事会の報告
 3. 次年度の取りまとめ幹事校について
 4. その他

3

東海・北陸ブロック 活動報告②

各参画大学のグッドプラクティスの情報交換

● トップリーダー顕彰

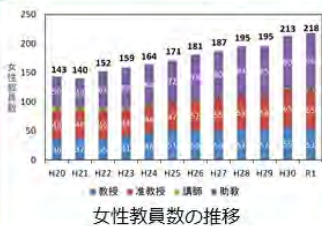
名古屋大学
 教育研究評議会の女性割合が2割以上となるよう学内規定を改正



● 女性教員の積極採用

金沢大学
 理工系で原則として全ての人事を女性限定公募

女性限定公募件数 (平成29年4月～令和元年8月)	公募件数
理工研究域	28
人間社会研究域	5
合計	33



● 理系女子のすそ野拡大

富山大学
 理系女子大学院生チーム(スマート・ポリネーター)の任命
岐阜大学
 女子大学院生による出前講義(サイエンス夢追い人育成プロジェクト)

● 女性教員比率・採用比率

豊橋技術科学大学
 昨年度比率が向上した大学
 国大協ランキング4位
北陸先端科学技術大学院大学
 直近3年間の女性教員採用比率が26.7%

4

◆全国8ブロックの活動報告◆

近畿ブロック

発表者：田中 弘美 立命館大学 学長特別補佐／情報理工学部 教授

近畿ブロック

■ブロック幹事大学

京都大学、大阪大学、神戸大学、立命館大学

■ブロック参画機関等

明石工業高等専門学校、大阪教育大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪市立大学、大阪電気通信大学、大阪府立大学、関西大学、関西学院大学、京都工芸繊維大学、京都産業大学、京都市立芸術大学、京都橘大学、京都府立医科大学、京都府立大学、甲南大学、国立循環器病研究センター、滋賀医科大学、滋賀大学、奈良県立医科大学、奈良工業高等専門学校、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、兵庫県立大学、舞鶴工業高等専門学校、武庫川女子大学、和歌山工業高等専門学校、和歌山大学

※2019年11月1日現在、全32機関

※下線は私立大学、赤字は2019年度からの参画大学

1

近畿ブロック 行動目標

目標1：グッドプラクティスと今後の課題等の共有を図りつつ、近畿ブロックのネットワークの形成と拡大に向けて活動する。

目標2：地域との協働のもと、女性研究者等を取り巻く研究環境整備や研究力向上等に取り組み、社会に有益な情報や成果を発信する。

目標3：喫緊の課題となっている理工系女性研究者等の人材育成に向けた活動を推進するとともに、他のブロックと連携して、理工系以外の女性研究者等を含んだ人材育成活動を推進する。

■2019年度近畿ブロック事業計画

1. 近畿ブロック会議を年3回(6月、11月、2月)開催し、会議に合わせ、人事に係るポジティブアクション事例やライブイベント時における研究者支援等の有用な取組を共有するセミナー実施する。
2. 教員・研究者の雇用職種が多様化している私立大学の事例や現況を共有化し課題の抽出するため、私立総合大学が多く分布する近畿圏において15校を目標に参画機関の拡充を図る。
3. 理工系女性研究者志望層の裾野拡大をテーマとした2019年度近畿ブロックシンポジウムを開催する。

2



近畿ブロック 活動報告①

■近畿ブロック会議、セミナー開催

【第1回近畿ブロック会議・セミナー（6月20日）】

「人事に関わるポジティブ・アクション」
「ライブイベントとの両立に向けた研究環境整備」



奈良女子大学教授
春本晃江先生



大阪大学理事・副学長
工藤真由美先生

【第2回近畿ブロックセミナー（9月17日）】

「女性研究者育成とスキルアップ支援」



立命館大学
キャリアアドバイザー・
産総研名誉リサーチャー
相馬芳枝先生



大阪府立大学
女性研究者支援センター
特認准教授
巽真理子先生

■裾野拡大をテーマとした シンポジウムの開催

理系女性研究者の裾野拡大と風土づくり

2019年11月21日(木) 立命館大学大槻いほらきキャンパス
13:00-16:20 (開場:12:30)

13:00- 開会挨拶 立命館大学 学長 柳川隆雄
13:05- 開会挨拶 立命館大学 学長 柳川隆雄
13:10- 開会挨拶 立命館大学 学長 柳川隆雄

13:10- 基調講演 立命館大学 学長 柳川隆雄
13:15- 基調講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

13:15- 13:30 休憩

14:00-14:05 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄
14:05-14:10 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:10-14:15 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:15-14:20 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:20-14:25 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:25-14:30 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:30-14:35 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:35-14:40 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:40-14:45 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:45-14:50 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:50-14:55 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

14:55-15:00 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:00-15:05 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:05-15:10 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:10-15:15 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:15-15:20 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:20-15:25 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:25-15:30 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:30-15:35 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:35-15:40 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:40-15:45 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:45-15:50 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:50-15:55 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

15:55-16:00 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

16:00-16:05 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

16:05-16:10 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

16:10-16:15 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

16:15-16:20 講演 立命館大学 学長 柳川隆雄

申込方法 bit.ly/openedkinki
11月15日(金)締切

活動詳細
https://www.opened.network/activity_block/kinki/

3

近畿ブロック 活動報告②

私立総合大学が多く分布する近畿ブロックにおいては、
国公立大学と同数を目標に参画機関の拡充を図る。

【本年度とりまとめ幹事校を務める立命館大学が加盟する、
「一般社団法人日本私立大学連盟（126機関が加盟）」
「公益財団法人大学コンソーシアム京都（63機関が加盟）」を通じて】

大学コンソーシアム京都理事会（立命館・仲谷総長より報告）	6/22開催
日本私立大学連盟総会（連盟事務局長より報告）	6/25開催
大学コンソーシアム京都運営委員会（立命館・中村委員より報告）	7/10開催
日本私立大学連盟理事会（文部科学省・角田統括官より報告）	7/23開催

近畿圏の大学を個別に訪問、2019年4月より12機関参画



教育が重要視される私立大学の実情を共有化し、
課題の抽出を行うことが必要

4

◆全国8ブロックの活動報告◆

中国・四国ブロック

発表者: 葉久 真理 徳島大学 副理事/ AWAサポートセンター センター長
大学院医歯薬学研究部 助産学分野 教授

中国・四国ブロック 行動目標

・ブロックの行動目標

目標1

中国・四国ブロックのネットワークの拡大を図る。

目標2

中国・四国ブロック内の大学・研究機関等における女性研究者活躍促進のための様々な取組の進捗、成果、課題について情報共有及び問題の可視化を行い、それぞれの取組を更に充実させる。

目標3

中国・四国ブロックの特徴を分析し、対応の検討・実施を行い、グッドプラクティスとして全国に発信する。

1

1

中国・四国ブロック

● ブロック幹事大学

参画機関：20機関

(2019.10.10現在)

■ 2019年度とりまとめ幹事大学：徳島大学

広島大学

徳島大学

岡山大学

愛媛大学

● ブロック参画機関等

鳥取大学	島根大学	山口大学	鳴門教育大学
香川大学	高知大学	県立広島大学	広島市立大学
福山大学	広島国際大学	岡山県立大学	松江工業高等専門学校
新居浜工業高等専門学校	徳島県立工業技術センター	徳島県立農林水産総合技術支援センター	えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会

2

2



中国・四国ブロック 活動報告①

● 2019年度中国・四国ブロック幹事会の開催

日時 2019年7月19日 (金)
14:00-16:00
場所 ホテルグランヴィア岡山

■中国・四国ブロック幹事大学
広島大学、徳島大学、岡山大学、愛媛大学
(出席者数 13名)

- 参画機関の拡大について
参画機関の目標数を定めて取り組む
- 様々な取組の進捗、成果、課題について情報共有及び問題の可視化
女性(研究者)活躍推進度を見るための指標(原案)の作成に向けて
- 2019年度中国・四国ブロック会議及びワークショップの開催



徳島大学



広島大学



岡山大学



愛媛大学

中国・四国ブロック 活動報告②

- 2019年度中国・四国ブロック会議の開催
- 中国・四国ブロックワークショップの開催

日時 2019年11月18日 (月)
10:15-12:15
場所 島根大学

目標1 ネットワークの拡大を図る

参画機関の拡大
➔目標数を年度毎に定め取り組む

出席機関：18機関（出席者40名）

- 中国・四国ブロック会議
- 中国・四国ブロックワークショップ
テーマ：女性活躍促進の進展度合いをみるために
広島大学理事
相田 美砂子 氏

目標2 取組の進捗、成果、課題の情報共有及び問題の可視化、取組の充実

岡山大学作成
➔女性活躍推進度マップの検討



ブロック会議



ワークショップ

目標3 特徴を分析、対応の検討・実施を行い、グッドプラクティスを全国に発信

➔グッドプラクティスの発信依頼

◆全国8ブロックの活動報告◆

九州・沖縄ブロック

発表者: 上瀧 恵里子 九州大学 男女共同参画推進室 教授

九州・沖縄ブロック

幹事大学

○九州大学、長崎大学、宮崎大学

○取り纏め幹事大学

参加大学

大分大学、沖縄科学技術大学院大学、
鹿児島大学、九州工業大学、九州産業大学、
熊本大学、佐賀大学、福岡女子大学、琉球大学

(50音順 2019年11月現在)

1

九州・沖縄ブロック行動目標

ダイバーシティを認め合える教育・研究環境の整備を通じ、新たな「知」の創出を目指す。

目標1 : 既に構築している九州・沖縄地区の女性研究者支援や男女共同参画に関するネットワークと連携・協力し、グッドプラクティスの事例を共有しながら九州・沖縄ブロックの活動を推進する。

目標2 : アジア・オセアニアへの玄関口である地域の特色を活かし、国際的視点からダイバーシティ推進へ向けた情報や成果を発信する。

目標3 : 活躍しやすい研究環境の整備を通じ、女性研究者の増加を目指すとともに、次世代の育成を推進する。

2



九州・沖縄ブロック活動報告 ①

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)

九州・沖縄地区から **4大学** 採択

九州大学、長崎大学、琉球大学、佐賀大学

- ・ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修 (SENTAN-Q)
- ・ダイバーシティ推進学習プログラム etc.

9月20日 第1回九州・沖縄ブロック会議開催

議題：本年度の活動計画 他

参加：九州・沖縄ブロック 12大学



参考事例掲載

宮崎大学 (2件)、長崎大学、九州工業大学、九州大学

3

九州・沖縄ブロック活動報告 ②

9月20日 シンポジウム開催 (於 九州大学)

テーマ「女性の活躍推進に向けて ~支援から戦略へ~」

- ・第11回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in福岡
- ・2019年度全国ダイバーシティネット ワーク組織九州・沖縄ブロックシンポジウム

共催

基調講演：上野千鶴子氏「男女共同参画は学問を変えるか？」

11大学 理事、副学長によるパネル討論：

「支援から戦略へ ~組織と個人に必要なこと」

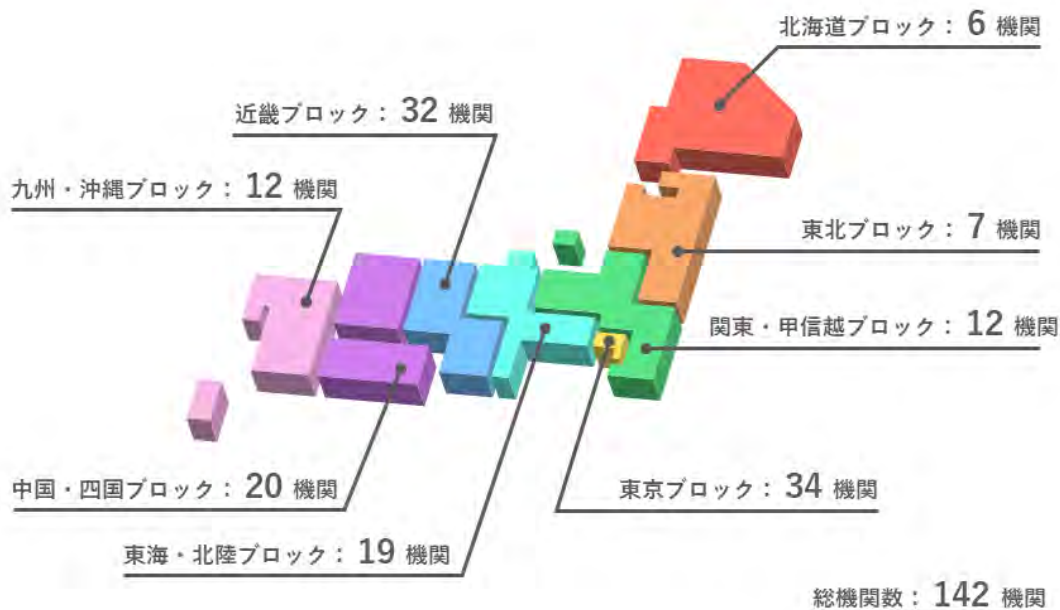
- 女性研究者の上位職への登用
- 女性研究者の次世代の育成

令和宣言

Rebuild an **E**nvironment for
Innovative Society by
Woman's **A**ctivity



4



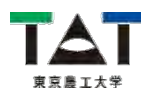
地域ブロック参画機関

2019年10月29日現在

(50音順) 太字は幹事大学

北海道ブロック	帯広畜産大学 株式会社アミノアップ 北見工業大学 日東電工株式会社北海道研究所 北海道大学 室蘭工業大学 (6機関)
東北ブロック	岩手大学 仙台高等専門学校 東北大学 福島県立医科大学 宮城大学 山形県立米沢栄 養大学 山形大学 (7機関)
東京ブロック	宇宙航空研究開発機構 お茶の水女子大学 杏林大学 国際基督教大学 実践女子大学・ 実践女子大学短期大学部 首都圏産業活性化協会 首都大学東京 順天堂大学 情報・シ ステム研究機構 拓殖大学 津田塾大学 帝京大学 電気通信大学 東海大学 東京医科 歯科大学 東京医科大学 東京外国語大学 東京海洋大学 東京学芸大学 東京藝術大学 東京工業大学 東京女子医科大学 東京女子大学 東京大学 東京都立大学 東京農工大 学 東京理科大学 東邦大学 東洋大学 日本医科大学 日本女子大学 日本大学 法政 大学 早稲田大学 (34機関)
関東・甲信越ブロック	茨城大学 宇都宮大学 国際農林水産業研究センター 埼玉大学 千葉大学 筑波大学 長岡技術科学大学 新潟大学 山梨大学 横浜国立大学 理化学研究所 量子科学技術研 究開発機構 (12機関)
東海・北陸ブロック	愛知医科大学 石川県立大学 石川工業高等専門学校 金沢医科大学 金沢大学 岐阜大 学 公立小松大学 静岡大学 富山県立大学 富山大学 豊橋技術科学大学 名古屋工業 大学 名古屋市立大学 名古屋大学 浜松医科大学 福井大学 藤田医科大学 北陸先端 科学技術大学院大学 三重大学 (19機関)
近畿ブロック	明石工業高等専門学校 大阪教育大学 大阪工業大学 大阪産業大学 大阪市立大学 大 阪大学 大阪電気通信大学 大阪府立大学 関西大学 関西学院大学 京都工芸繊維大学 京都産業大学 京都市立芸術大学 京都大学 京都橘大学 京都府立医科大学 京都府立 大学 甲南大学 神戸大学 国立循環器病研究センター 滋賀医科大学 滋賀大学 奈良 県立医科大学 奈良工業高等専門学校 奈良女子大学 奈良先端科学技術大学院大学 兵 庫県立大学 舞鶴工業高等専門学校 武庫川女子大学 立命館大学 和歌山工業高等専門 学校 和歌山大学 (32機関)
中国・四国ブロック	愛媛大学 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会 岡山県立大学 岡山大学 香川大 学 県立広島大学 高知大学 島根大学 徳島県立工業技術センター 徳島県立農林水産 総合技術支援センター 徳島大学 鳥取大学 鳴門教育大学 新居浜工業高等専門学校 広島国際大学 広島市立大学 福山大学 広島大学 松江工業高等専門学校 山口大学 (20機関)
九州・沖縄ブロック	大分大学 沖縄科学技術大学院大学 鹿児島大学 九州工業大学 九州産業大学 九州大 学 熊本大学 佐賀大学 長崎大学 福岡女子大学 宮崎大学 琉球大学 (12機関)

[お問合せ先]



東京農工大学 女性未来育成機構

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

TEL : 042-388-7362 E-mail : joseijim@ml.tuat.ac.jp